

# 平成30年度当初予算 予算要求シート

事業区分： その他一般    マスタープラン：    3つの挑戦    /    施策番号 1-1

局・課名：    健康福祉局・環境業務課

<b>事業名</b>	シンナー・覚醒剤等乱用防止啓発事業	<b>事業費(千円)</b>	平成28年度決算額	平成29年度予算額	平成30年度要求額
			1,224	1,242	1,329
<b>事業概要</b>	<b>【目的】</b>	<b>債務負担行為</b>	期間		要求額(千円)
	シンナー、麻薬、覚醒剤をはじめとする薬物は、乱用すれば生命身体に半永久的弊害をおよぼし、さらには社会的にも重大な弊害を生ずる。近年の薬物乱用の低年齢化と、健康被害が社会問題となっていることを考慮し、これらの薬物に対する正しい知識と薬物乱用の危険性を市民(特に青少年)に周知啓発する。		H ~ H		
	<b>【内容】</b>	<b>主な要求内容</b> (単位:千円)			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ダメ。ゼッタイ。」普及運動として、大阪府と連携して街頭キャンペーンによる啓発を実施。</li> <li>・市内各区で行われる「区民まつり」等でパネル・映像等を用いて主に若年層を中心にクイズを用いた啓発を実施。</li> <li>・市内学校での薬物乱用防止教育への支援として、啓発DVD・啓発パネル・薬物標本等を貸し出し、冊子・リーフレットを提供。</li> <li>・広報紙、HPでの啓発とともに、パネル展示や懸垂幕の掲示を実施。</li> </ul>	項目	29年度予算	30年度要求額	内容・積算等
		啓発用物品等	727	727	配布啓発物品、リーフレット、啓発映像等
		冊子の印刷製本	500	580	薬物乱用防止啓発用冊子
		研修会出張費	15	22	管内出張
		合計	1,242	1,329	
	<b>【今年度要求のポイント】</b>	<b>スケジュール(経過及び今後展開)</b>			
	乱用される薬物については、法規制が進み手を出しにくい状況になりつつある。しかしながら、依然として大麻等の依存薬物について、深刻な社会問題が続いている。青年期からの薬物乱用防止教育が重要視されているため、本課で作成した大麻関連リーフレット等を、市内小学校から大学に対して提供を行い、青少年に対する薬物乱用防止教育を強化する。	<b>【経過(～29年度)】</b> 小・中・高校生用冊子を製本し依頼のある学校へ提供。乱用問題が再燃している大麻について、啓発を強化。	<b>【30年度】</b> 事業の継続実施	<b>【今後予定(31年度～)】</b> 事業の継続実施	
	<b>その他 特記事項</b>				
	みんなの審査会対象外 関連事業：				